



BL シリーズ
LCD モニタ
ユーザー ガイド



著作権

Copyright © 2014 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

フリッカー フリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。（フリッカー フリー モデルのみが該当します。）

電源についての安全対策



モニタが最高の性能で動作するよう、また、モニタをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。

- AC プラグは、AC 電源から取り外すことができます。
- 電源コードは、プラグ着脱可能な装置では電源停止デバイスとして機能します。電源コンセントは、本装置の近くに設置され、すぐに利用できる状態になっている必要があります。
- 本製品は、ラベルのマークに示されている電源のタイプで動作させる必要があります。利用可能な電源のタイプが不明の場合は、取扱店または地域の電気会社にお問い合わせください。
- 電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。

お手入れと清掃

- お手入れ・清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニタの電源コードをはずしてください。LCD モニタの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナーは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニタは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- 本製品内に異物を押し込んだり、液体をこぼしたりしないようにしてください。

保守

本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at <http://csr.BenQ.com/> for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



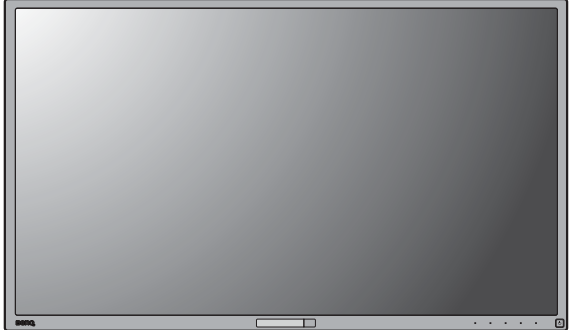
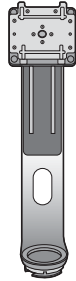
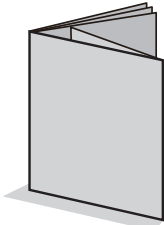
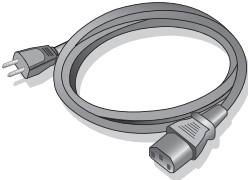
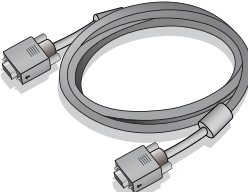
目次

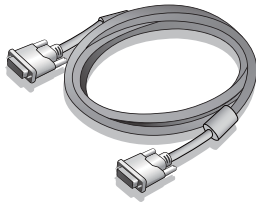
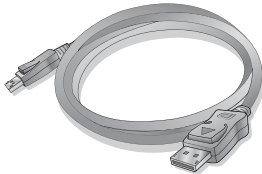
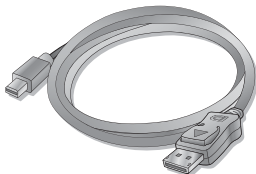
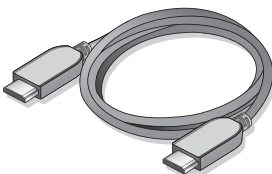
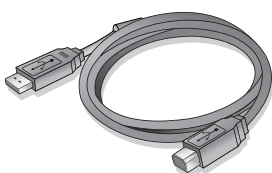
著作権	2
はじめに	6
モニタの外観	8
前面ビュー（BL3200 の場合）	8
背面ビュー（BL3200 の場合）	8
前面ビュー（BL3201 の場合）	9
背面ビュー（BL3201 の場合）	10
接続	11
モニタハードウェアの取り付け方法	13
スタンドとベースの取り外し	19
モニタの高さ調節	21
モニタの回転	22
表示角度の調整	23
モニタ取り付けキットの使用方法	24
BenQ モニタの特長を生かすために	25
新しいコンピュータにモニタをインストールするには	26
既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには	27
Windows 8 (8.1) システムへのインストール方法	28
Windows 7 システムへのインストール方法	29
モニタの調整	30
コントロール パネル	30
OSD コントローラ	31
基本メニュー操作	33
画像の最適化	35
ホットキーのカスタマイズ	35
画面モードの調整	36
スマート スケーリングを使う	36
適切な画像モードを選択する	36
モニタを MacBook シリーズ製品に接続する	36
PIP/PBP モードでのビデオ ソース選択（PIP/PBP 機能のあるモデル専用）	37
メインメニューのナビゲート	38
表示メニュー	39
シャープネス画像メニュー	42
画像の詳細設定メニュー	44
オーディオメニュー	49
システム メニュー	50
エルゴノミクス メニュー	54
Eco メニュー	56
トラブルシューティング	58

よくある質問（FAQ）.....	58
それでも解決できないときは.....	60

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
モニタ スタンド	
モニタ ベース	
クイック スタート ガイド	
CD-ROM	
電源コード (地域によって製品図が異なる場合があります。)	
ビデオケーブル : D-Sub (BL3200 のみ)	

ビデオケーブル：DVI-D デュアルリンク	
ビデオケーブル：DP (BL3200 のみ)	
ビデオケーブル：DP - mini DP (BL3201 のみ)	
ビデオケーブル：HDMI	
オーディオケーブル (スピーカー付きモデルのオプション アクセサリ)	
USB ケーブル	
OSD コントローラ	
ワイヤーホルダー	



• アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

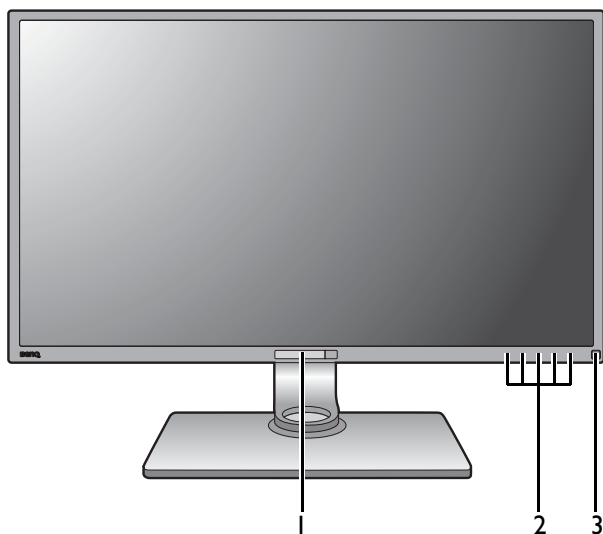
• モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。



製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

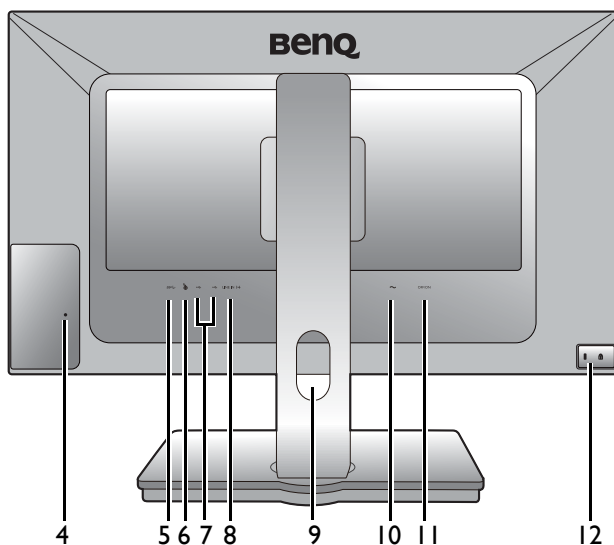
モニタの外観

前面ビュー（BL3200 の場合）

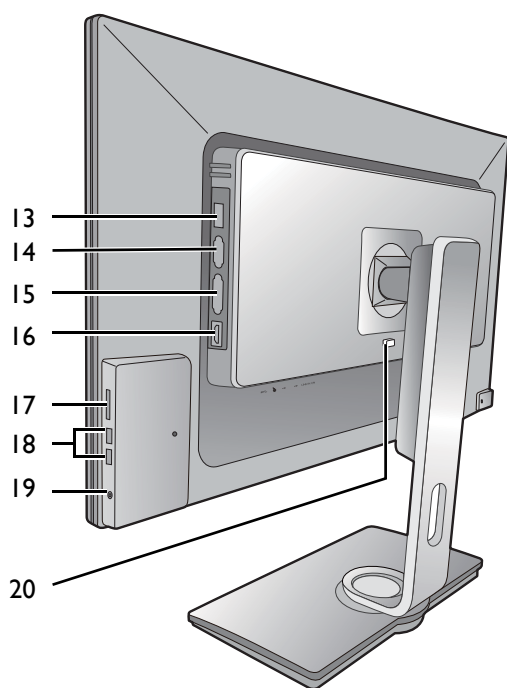


1. ライトセンサー /ECO センサー
2. コントロールボタン
3. 電源ボタン

背面ビュー（BL3200 の場合）

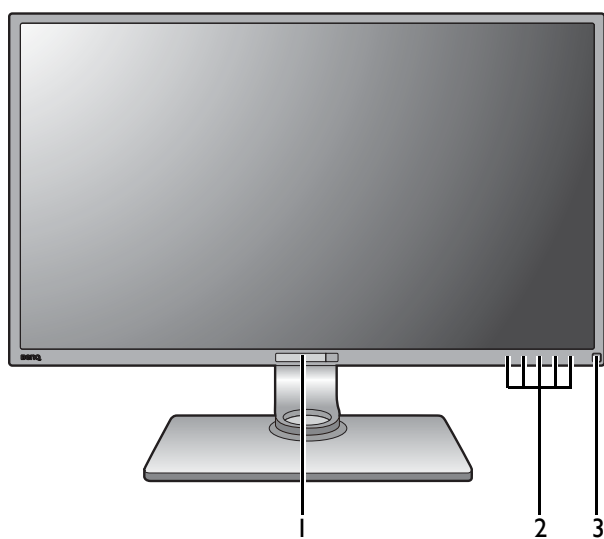


4. ワイヤーホルダー ソケット
5. USB 3.0 ポート（アップストリーム、PC に接続）
6. OSD コントローラ ソケット
7. USB 2.0 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
8. オーディオ入力
9. ケーブル管理ホール
10. AC 電源入力ジャック
11. 電源スイッチ
12. Kensington ロックスロット



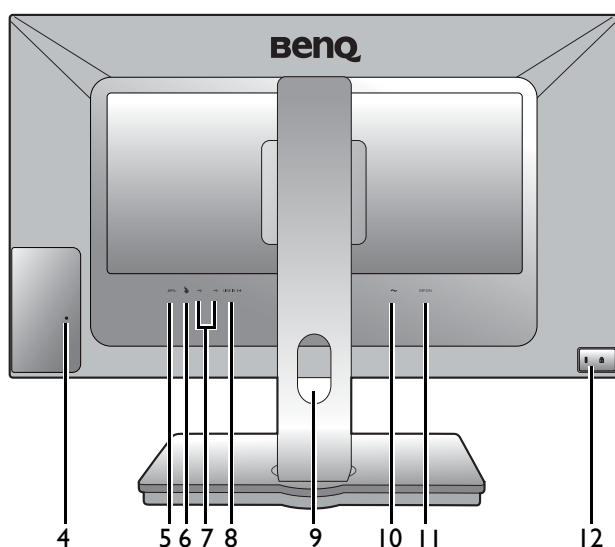
- 13. DisplayPort ソケット
- 14. D-Sub ソケット
- 15. DVI-D ソケット
- 16. HDMI ソケット
- 17. SD カード スロット
- 18. USB 3.0 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
- 19. ヘッドフォンジャック
- 20. クイック リリース ボタン

前面ビュー（BL320I の場合）

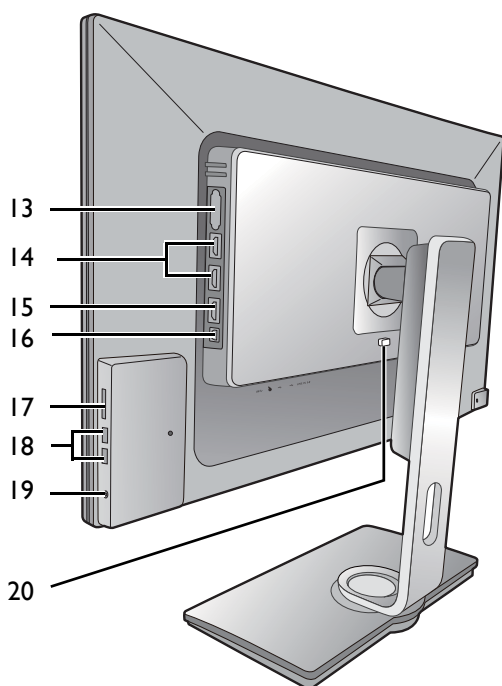


- 1. ライトセンサー /ECO センサー
- 2. コントロールボタン
- 3. 電源ボタン

背面ビュー（BL320I の場合）



- 4. ワイヤーホルダー ソケット
- 5. USB 3.0 ポート（アップストリーム、PC に接続）
- 6. OSD コントローラ ソケット
- 7. USB 3.0 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
- 8. オーディオ入力
- 9. ケーブル管理ホール
- 10. AC 電源入力ジャック
- 11. 電源スイッチ
- 12. Kensington ロックスロット



- 13. DVI-D ソケット (*)
- 14. HDMI ソケット x 2 (*)
- 15. DisplayPort ソケット (**)
- 16. Mini DisplayPort ソケット (**)
- 17. SD カード スロット
- 18. USB 3.0 ポート（ダウンストリーム、USB デバイスに接続）
- 19. ヘッドフォンジャック
- 20. クイック リリース ボタン



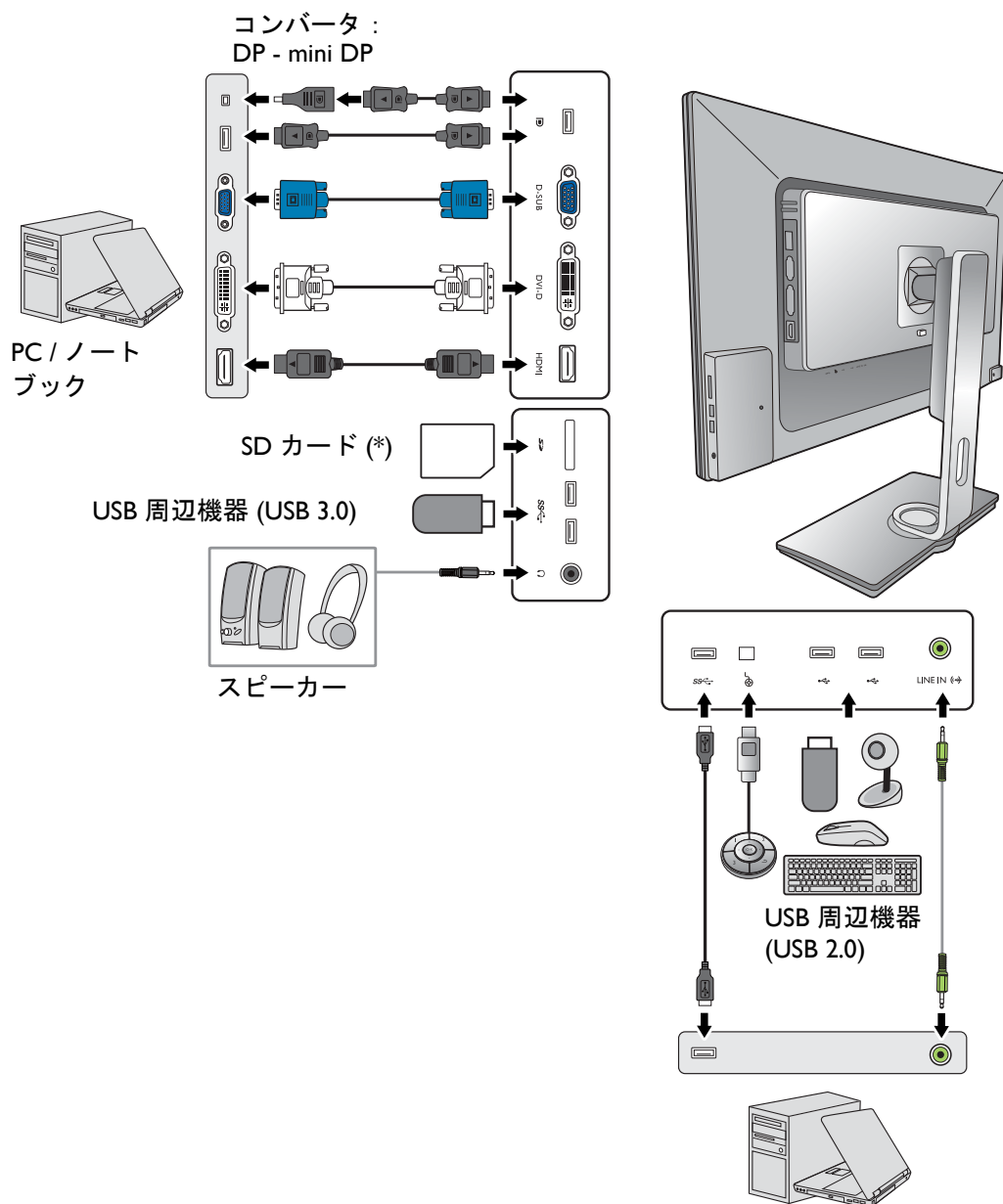
- *: 30 Hz のとき、最大 3840 x 2160 までサポートします。
- **: 60 Hz のとき、最大 3840 x 2160 までサポートします。
- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。

接続

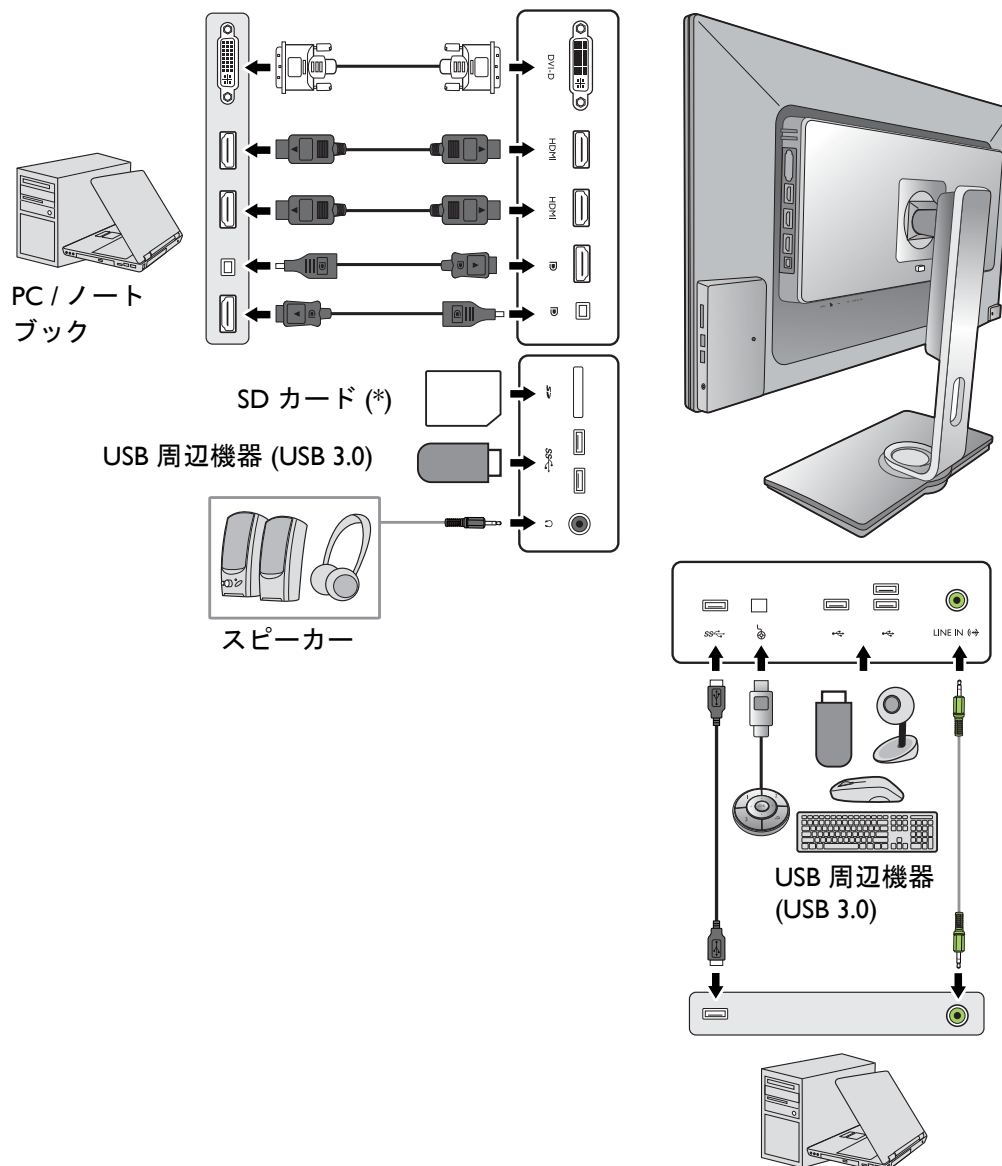
次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

接続方法についての詳細は、14 - 17 ページをお読みください。

BL3200



* : Windows 8.1 OS 用のカードリーダー ドライバが必要です。付属の CD からドライバをインストールしてください。



* : Windows 8.1 OS 用のカードリーダー ドライバが必要です。付属の CD からドライバをインストールしてください。

モニタハードウェアの取り付け方法



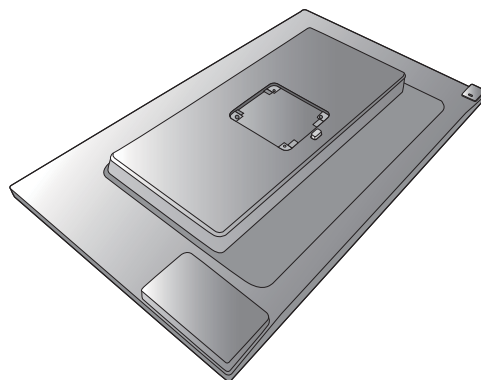
- モニタベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行ってください。モニタが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。
また、モニタベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- 次の画像は参照用です。出入力ジャックの位置および有無は、購入されたモデルにより異なります。
- サポートされるタイミングは、入力信号によって異なります。「スクリーンの解像度の調整」リンクの「プリセット 画面モード」セクションをお読みください。

1. モニタベースを設置します。

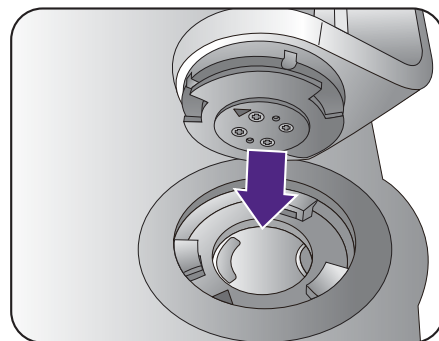


物や突起物がない平らで安定した場所に、モニタの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニタの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがございますと傷や破損の原因となります。

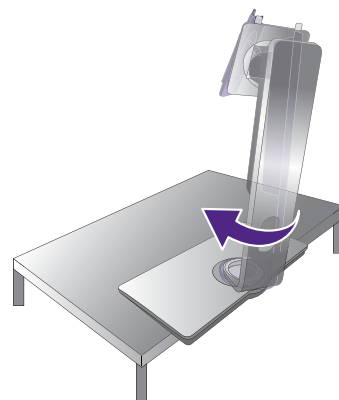
モニタをしっかりと持ち、モニタのスタンドアームを上へ引き上げてください。



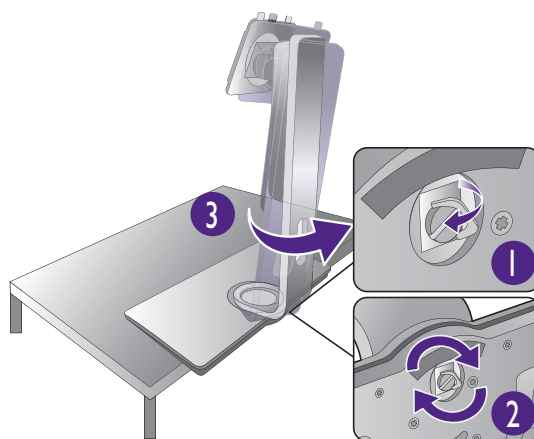
図に示すとおり、モニタベースにモニタスタンドを取り付けます。スタンドの端に表示されている矢印とモニタに表示されている矢印を揃えます。



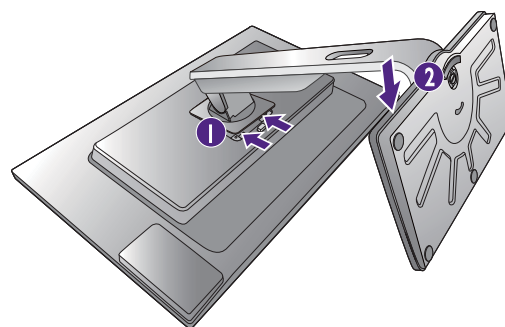
スタンドを右回りにしっかりと回転させます。



図に示すとおり、モニターベースの底面にある蝶ネジを締めてください。その後、スタンドを左に回して正面を向けます。



しっかりと固定されるとカチッという音がします。スタンドアームとモニタの向きを合わせて (①)、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください (②)。



ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。



照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



2. PC ビデオケーブルを接続します。

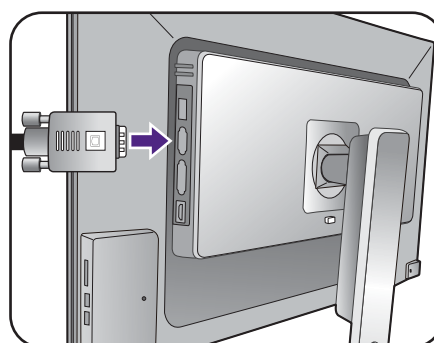


同一 PC に DVI-D ケーブルと D-Sub ケーブルを同時に使用しないでください。これらのケーブルは、2 台の異なる PC と適切なビデオシステムがある場合のみ同時に使用することができます。

D-Sub ケーブルの接続

D-Sub ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

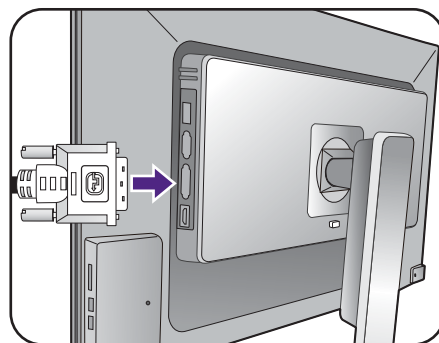
使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。



DVI-D ケーブルの接続

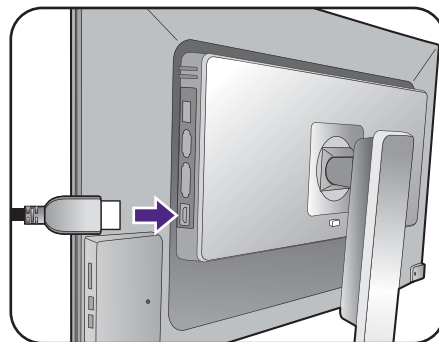
DVI-D ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。フェライトフィルタが付いている方のプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。

使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。



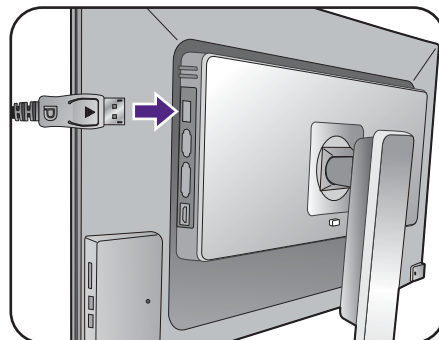
HDMI ケーブルの接続

HDMI ケーブルのプラグを、モニタの HDMI ポートに接続します。ケーブルのもう片端を、デジタル出力装置の HDMI ポートに接続します。



DP ケーブルの接続

DP ケーブルのプラグをモニタのビデオソケットおよびコンピュータのビデオソケットに接続します。画像が表示されない場合は、「システム」から **DisplayPort** を選択して、設定を 1.1 に変更してください。その後でケーブルを接続します。



Mini DP ケーブルの接続

Mini DP ケーブルのプラグをモニタのビデオソケットおよびコンピュータのビデオソケットに接続します。

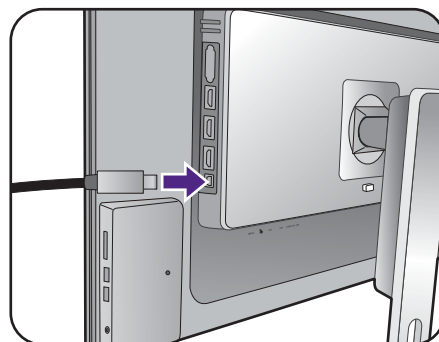


複数のビデオ通信方式がある場合は、接続を行う前に、各ビデオケーブルの画質を考慮して入れてください。

- 良い画質 : HDMI / DVI-D / DP / mini DP
- 標準画質 : D-Sub



製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、お住まいの地域で販売される製品によって異なる場合があります。

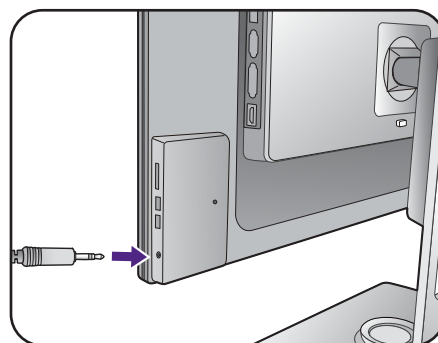
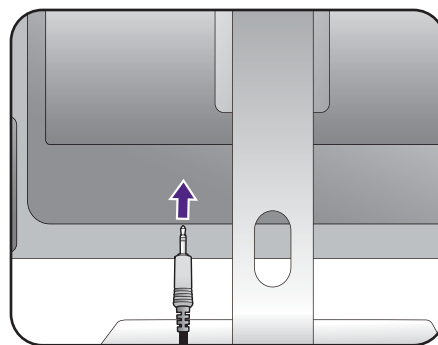


3. オーディオケーブルを接続します。

オーディオケーブルでモニター背面のソケット（入力）とコンピュータのオーディオ出力を接続します。

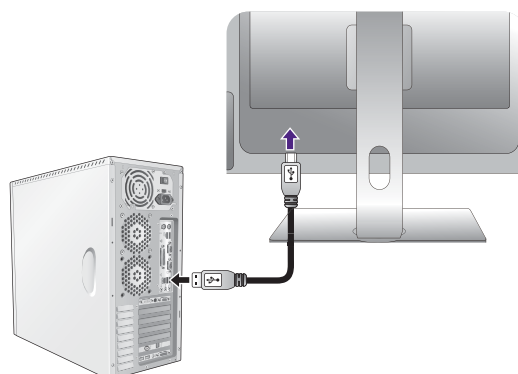
また、モニターの背面にあるヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続することもできます。

また、モニターの背面にあるヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続することもできます。

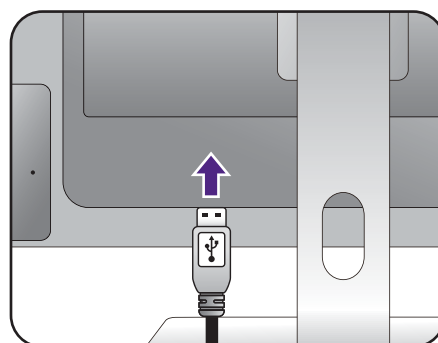
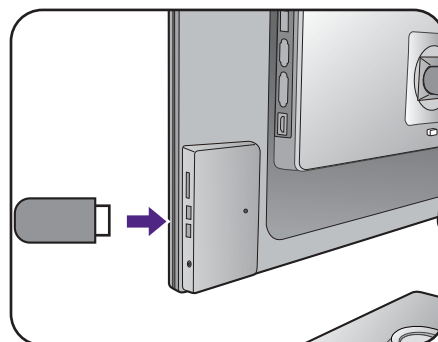


4. USB デバイスを接続します。

USB ケーブルで PC とモニターを接続します（モニター背面にあるアップストリーム USB ポートを使用）。このアップストリーム USB ポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイスの間でデータを通信します。



モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。



5. メモリ カードを挿入します。

SD、MMC、MS メモリ カードを表示方向に挿入します。



Windows 8.1 OS 用のカードリーダー ドライバが必要です。付属の CD からドライバをインストールしてください。

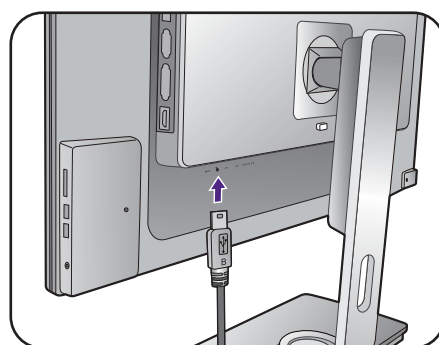
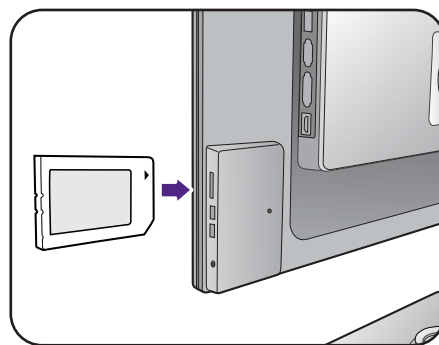


次のタイプのメモリ カードに対応しています。

- SD / SDHC / SDXC
- MMC
- Memory Stick / Memory Stick Pro
- MS Duo / MS-Pro Duo

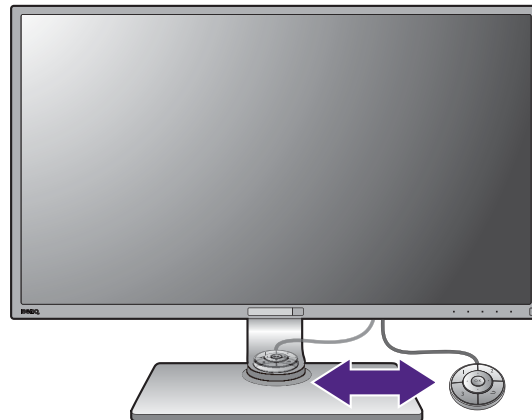
6. OSD コントローラをモニタに接続します。

OSD コントローラをモニタの背面にある mini USB ポートに繋ぎます (OSD コントローラ接続専用)。



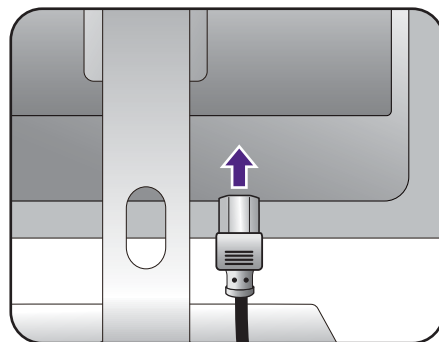
図に示すとおり、モニタ スタンドまたは好きな場所に OSD コントローラを置きます。

OSD コントローラについての詳細は、[31 ページの「OSD コントローラ」](#)をご覧ください。



7. モニタに電源ケーブルを接続します。

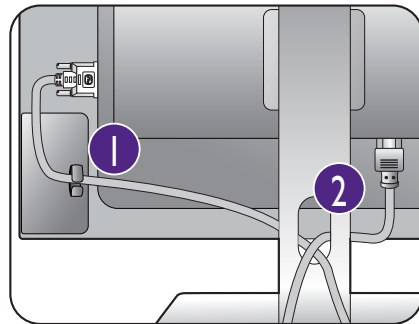
モニタの背面の  と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点ではまだコンセントにプラグを差し込まないでください。



8. ケーブルを整理する。

ワイヤーホルダーをモニタの背面にあるソケットに差し込みます。そして、ケーブルを 1 つずつワイヤーホルダーに差し込みます (①)。

ケーブル管理ホールにケーブルを差し込みます (②)。

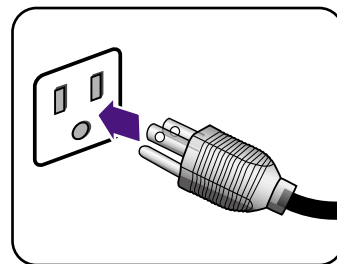


9. 電源に接続し、電源をオンにします。

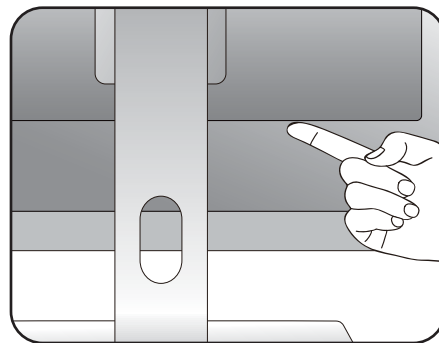
電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。



地域によって製品図が異なる場合があります。



電源入力ジャックの横にある電源スイッチをオンにします。

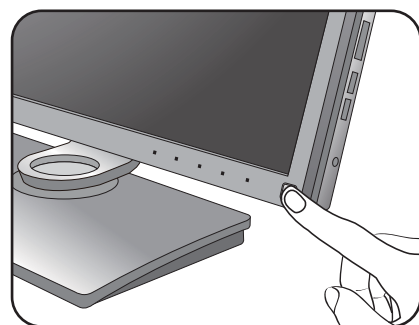


モニタの電源ボタンを押して、モニタをオンにします。

コンピュータの電源も入れて、25 ページの「BenQ モニタの特長を生かすために」の手順にしたがって、モニタソフトをインストールしてください。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

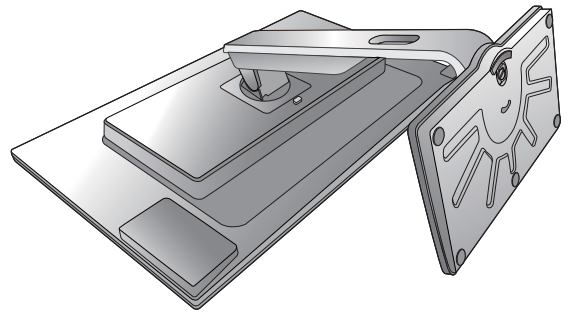


スタンドとベースの取り外し

1. モニタと作業場所の準備。

電源ケーブルを外す前にモニタの電源を切ります。
モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

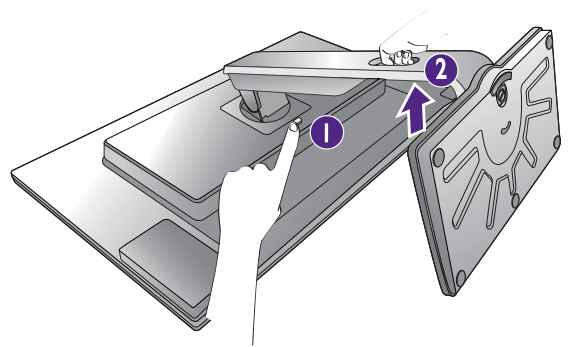
ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。



物や突起物がない平らで安定した場所に、モニタの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニタの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがございますと傷や破損の原因となります。

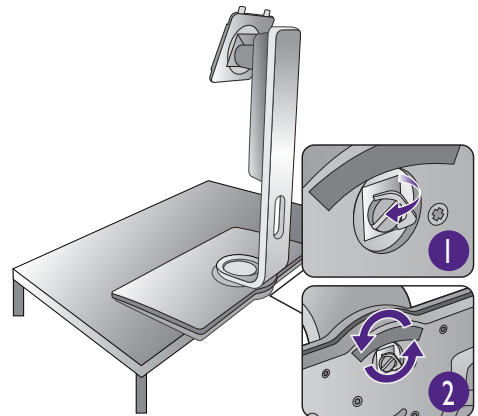
2. モニタスタンドを外します。

クイック リリース ボタン (①) 押しながら、
スタンドをモニタから外します (②)。

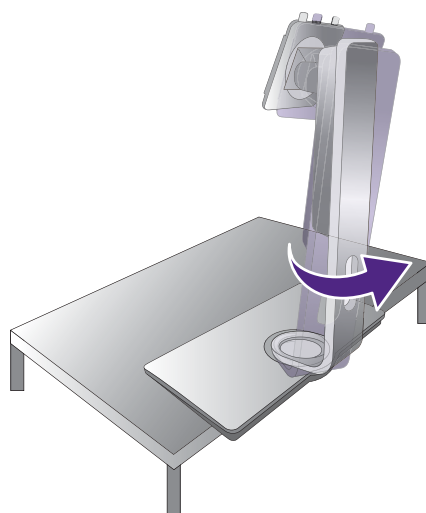


3. モニタのベースを外します。

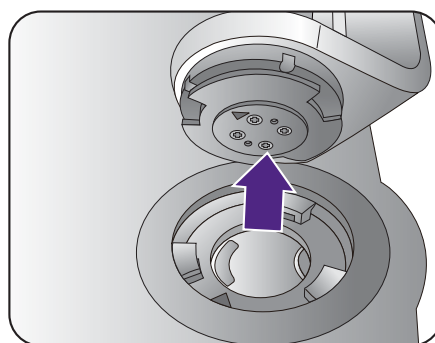
モニタベースの底面にある蝶ネジを外します。



スタンドを左回りにしっかりと回転させます。

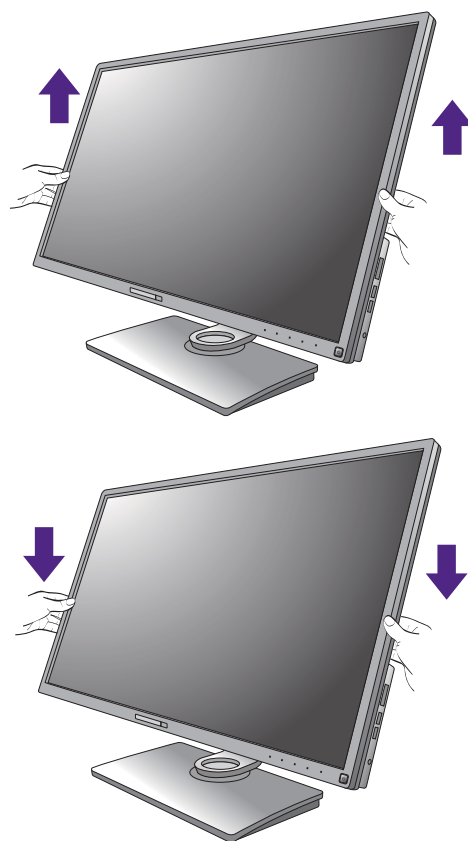


スタンドからベースを外します。

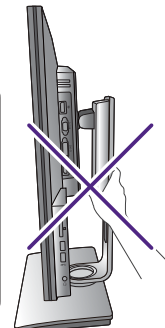
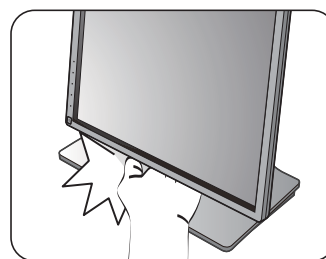


モニタの高さ調節

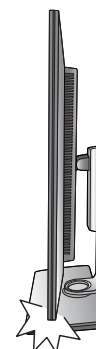
モニタの高さを調整するには、モニタの左右両側を持ち、モニタを下げたり、好きな高さに引き上げたりします。



- 高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニタの底面に手を添えると、モニタを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置に手を添えないでください。この作業を行う場合は、お子様をモニタに近付けないでください。



- モニタがポートレートモードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニタを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。



モニタの回転

1. ディスプレイを回転させます。

モニタを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。

- a. 表示と自動回転を選択します。次にオンを選択します。
- b. **Display Pilot Software (Display Pilot ソフトウェア)** を起動し (CD からインストールされている場合)、「自動回転」にチェックマークを付けてモニタと共にディスプレイも自動回転させるように設定します。
または、デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから画面の解像度を選択します。方向でポートレートを選択し、設定を適用します。



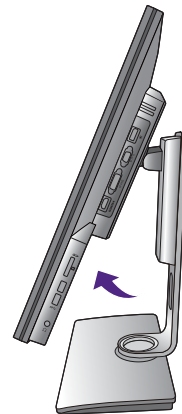
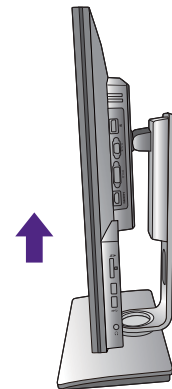
お客様の使用環境によって操作手順が異なります。詳細な手順等につきましてはご使用のパソコン本体のサポートセンターへご確認ください。

2. モニタを最高の高さまで上げ、傾斜させます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次にモニタを傾けます。



モニタを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニタが縦方向に伸びるはずですが、



3. 図に示す通り、モニタを右回りに 90 度回転させます。



回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニタベースに当たらないように、まずモニタを最高の高さまで引き上げてください。モニタの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。接続した USB 周辺機器とオーディオ ケーブルを先に外します。

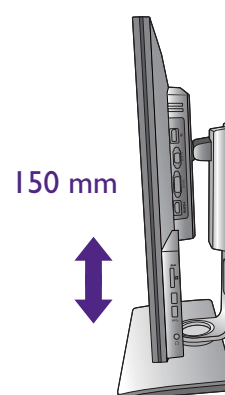
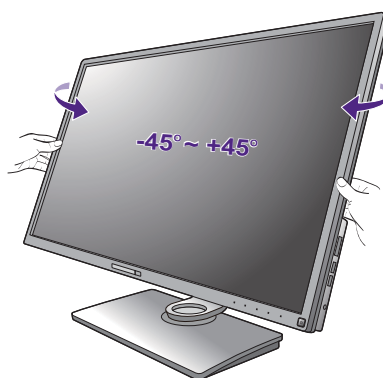


4. モニタを適切な角度に調整します。



表示角度の調整

モニタの位置は、角度 -5° から $+20^{\circ}$ まで、左右に計 90° 、高さ 150 mm の範囲で調整することができます。



モニター取り付けキットの使用法

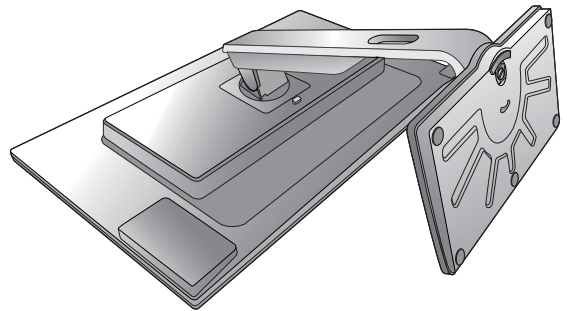
LCD モニタの背面には 100mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニターを壁に設置することができます。モニター取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- モニタおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
- 壁の材質がしっかりしていて、モニタの重量に耐えられることを確認してください。
- ケーブルを LCD モニタから外すときには、まずモニタのスイッチと電源を切ってください。

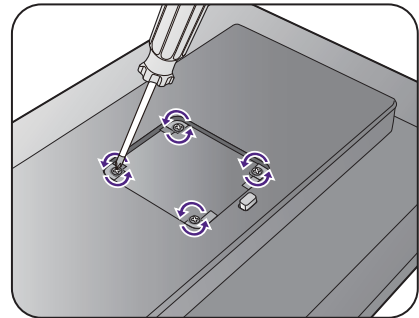
1. モニタスタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。ステップ 1 から 2 に従って、モニタスタンドを取り外します [19 ページの「スタンドとベースの取り外し」](#)。



2. 後ろカバーのネジを外します。

プラスドライバを使って、後ろカバーのネジを緩めてください。ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。



将来モニタスタンドを使用する可能性がある場合は、モニターベース、スタンド、ネジは安全な場所に保管しておいてください。

3. 購入された壁設置用ブラケットの説明書をお読みにになり、モニターを正しく設置してください。

BenQ モニタの特長を生かすために

BenQ LCD モニタの利点を最大限に生かすには、BenQ LCD Monitor CD-ROM に格納されている BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする必要があります。

BenQ LCD モニタを接続、インストールする状況に応じて、BenQ LCD Monitor ドライバをインストールする手順が変わります。これらの状況とは、使用する Microsoft Windows のバージョン、モニタを接続し、ドライバをインストールするコンピュータが新しいものであるかどうか（既存のモニタドライバが存在しないかどうか）、または既存のドライバを新しいモニタ用にアップグレードするかどうか（既存のモニタドライバが存在する）などを指します。

いずれの場合にしても、次回コンピュータの電源を入れるとき（コンピュータにモニタを接続した後）、Windows は自動的に新しい（または異なる）ハードウェアを識別し、新しいハードウェアが検出され、**新しいハードウェアの検出ウィザード**が起動します。

モニタモデルを選択するように要求されるところまで、ウィザードの指示にしたがってください。このとき、**ディスク使用ボタン**をクリックして BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入し、適切なモニタモデルを選択します。自動インストール（新しいモニタ）またはアップグレード（既存のモニタ）についての詳細と、詳しい手順は、次を参照してください。

- [26 ページの「新しいコンピュータにモニタをインストールするには」](#)。
- [27 ページの「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」](#)。



- ログインするためにユーザー名とパスワードの入力が必要な Windows コンピュータにモニタドライバをインストールするには、管理者の権限でログオンするか、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。また、セキュリティ設定が施されたネットワークにコンピュータを接続している場合は、ネットワークポリシーによりコンピュータにドライバをインストールできない場合があります。
- 購入された製品のモデル名は、モニタの背面の仕様ラベルに記載されています。

新しいコンピュータにモニタをインストールするには

ここでは、まだモニタドライバが何もインストールされていない新しいコンピュータで BenQ LCD モニタドライバを選択し、インストールする手順を説明します。この手順は未使用のコンピュータで、BenQ LCD モニタが初めて接続するモニタである場合にのみしたがってください。



すでに他のモニタを接続したことがある、使用済みのコンピュータに BenQ LCD モニタを接続する場合は（すでにモニタドライバがインストールされている場合）この手順にしたがうことはできません。「既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには」の手順にしたがってください。

1. セクション 13 ページの「モニタハードウェアの取り付け方法」の手順にしたがってください。

Windows が起動すると、新しいモニタが自動的に検出され、新しいハードウェアの検出ウィザードが起動します。ハードウェアドライバのインストールオプションが表示されるまで、画面の指示にしたがってください。

2. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。
3. デバイスに最適なドライバを検索するオプションをチェックし、次へをクリックします。
4. CD-ROM drives オプションをチェックし（その他のオプションはチェックしない）、次へをクリックします。
5. ウィザードが正しいモニタ名を選択したことを確認し、その後で次へをクリックします。
6. 完了をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。



購入されたモデルに適合するドライバについては、次の表を参照してください。

ドライバ ファイル	適合モデル
BL3200	BL3200PT / BL3200PE / BL3200PH
BL3201	BL3201PT / BL3201PE / BL3201PH

既存のコンピュータでモニタをアップグレードするには

ここでは、Microsoft Windows コンピュータ上で既存のモニタドライバを手動で更新する方法を説明します。現時点では、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 などのオペレーティングシステム (OS) と互換性があることが確認されています。

モニタドライバをインストールするには、BenQ LCD Monitor CD-ROM から使用するモニタモデル用の適切な情報ファイル (.inf) を選択し、Windows に相当するドライバを CD からインストールさせる必要があります。必要な作業は自動的に行われます。Windows には自動的に作業を行い、ファイル選択とインストール手順をガイドしてくれるデバイスドライバのアップグレード ウィザードが用意されています。

詳細は、下記を参照してください。

- [28 ページの「Windows 8 \(8.1\) システムへのインストール方法」](#)。
- [29 ページの「Windows 7 システムへのインストール方法」](#)。

Windows 8 (8.1) システムへのインストール方法

1. 画面のプロパティを開きます。

カーソルをスクリーンの右下に動かすか、キーボードの「**Windows + C**」ボタンを押すと **Charm**（チャーム）バーが開きます。**設定 → コントロールパネル → デバイスとプリンタ** を選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

または、デスクトップを右クリックし、**個人設定 → ディスプレイ → デバイスとプリンタ** を選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

2. メニューからプロパティを選択します。

3. ハードウェアタブをクリックします。

4. 汎用 PnP モニタをクリックした後で、プロパティボタンをクリックします。

5. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新ボタンをクリックします。

6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。

7. ドライバソフトウェアの更新ウィンドウでコンピュータからドライバソフトウェアを探すオプションを選択します。

8. 参照をクリックし、次のディレクトリを参照してください：d:\BenQ_LCD\Driver\ (d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます)。



CD ドライブのドライブ名は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんし、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名（フォルダ）を選択し、次へをクリックします。

コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. 閉じるをクリックしてください。

ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

Windows 7 システムへのインストール方法

1. 画面のプロパティを開きます。

スタート→コントロールパネル→ハードウェアとサウンド→デバイスとプリンタを選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

または、デスクトップを右クリックし、個人設定→ディスプレイ→デバイスとプリンタを選択し、メニューからモニタの名前を右クリックします。

2. メニューからプロパティを選択します。

3. ハードウェアタブをクリックします。

4. 汎用 PnP モニタをクリックした後で、プロパティボタンをクリックします。

5. ドライバタブをクリックし、ドライバの更新ボタンをクリックします。

6. コンピュータの CD ドライブに BenQ LCD Monitor CD-ROM を挿入します。

7. ドライバソフトウェアの更新ウィンドウでコンピュータからドライバソフトウェアを探すオプションを選択します。

8. 参照をクリックし、次のディレクトリを参照してください：d:\BenQ_LCD\Driver\ (d には CD-ROM ドライブに割り当てられた文字が表示されます)。



CD ドライブのドライブ名は、お使いになるシステムによって上の例とは異なる場合があります。
D:、E:、F: かもしれませんが、それ以外の文字かもしれません。

9. 表示されるドライバリストから正しいモニタ名（フォルダ）を選択し、次へをクリックします。

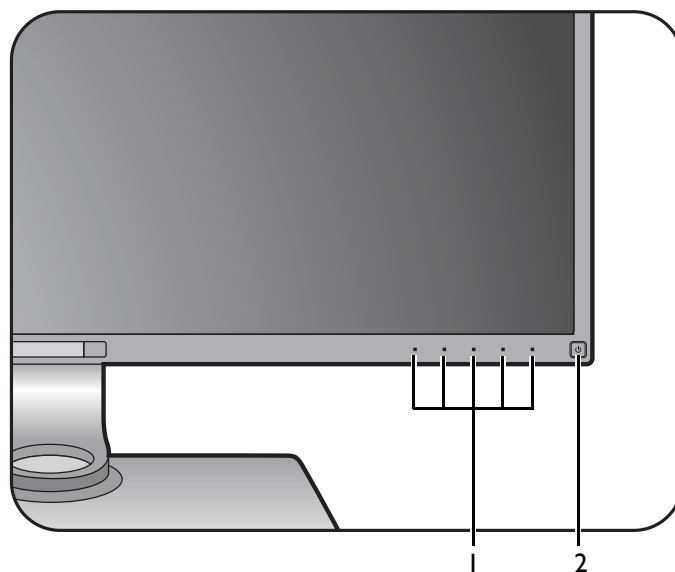
コンピュータに適切なドライバファイルがコピーされ、インストールされます。

10. 閉じるをクリックしてください。

ドライバのアップデートが完了すると、コンピュータを再起動するよう要求される場合があります。

モニタの調整

コントロール パネル



番号	名前	説明
1.	コントロールキー	画面に表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。それぞれのキーの右側にあります。
2.	電源キー	電源をオン / オフします。



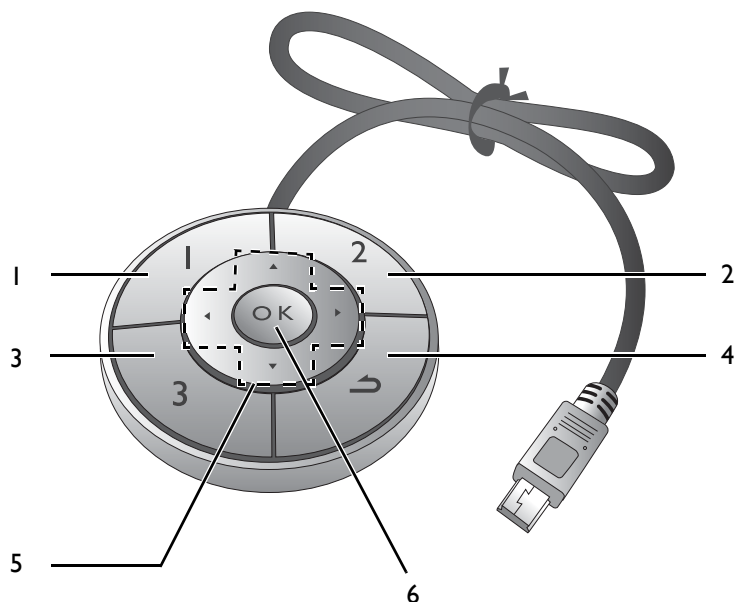
コントロールキーはタッチパッドに埋め込まれており、LED インジケータで表示されます。LED インジケータに触れると、相当するコントロールキーを押したことになります。

OSD コントローラ

コントロールキーとは別に、OSD コントローラを使用しても OSD メニューに素早くアクセスすることができます。



使用する前に、OSD コントローラをモニタに接続する必要があります。セクション 17 ページの「OSD コントローラをモニタに接続します。」の手順にしたがってください。



番号	名前	説明
1.	コントローラキー 1	• sRGB（画像モード） に切り替わります。 • 5 秒間押したままにすると、オプション リストが表示されます。▲ または ▼ を押してセットアップメニューの他の機能を選択し、OK で確定してください。
2.	コントローラキー 2	• CAD / CAM（画像モード） に切り替わります。 • 5 秒間押したままにすると、オプション リストが表示されます。▲ または ▼ を押してセットアップメニューの他の機能を選択し、OK で確定してください。
3.	コントローラキー 3	• ブルーライト軽減（画像モード） に切り替わります。 • 5 秒間押したままにすると、オプション リストが表示されます。▲ または ▼ を押してセットアップメニューの他の機能を選択し、OK で確定してください。
4.	戻るボタン (↶)	• OSD を終了します。 • 前のメニューに戻ります。

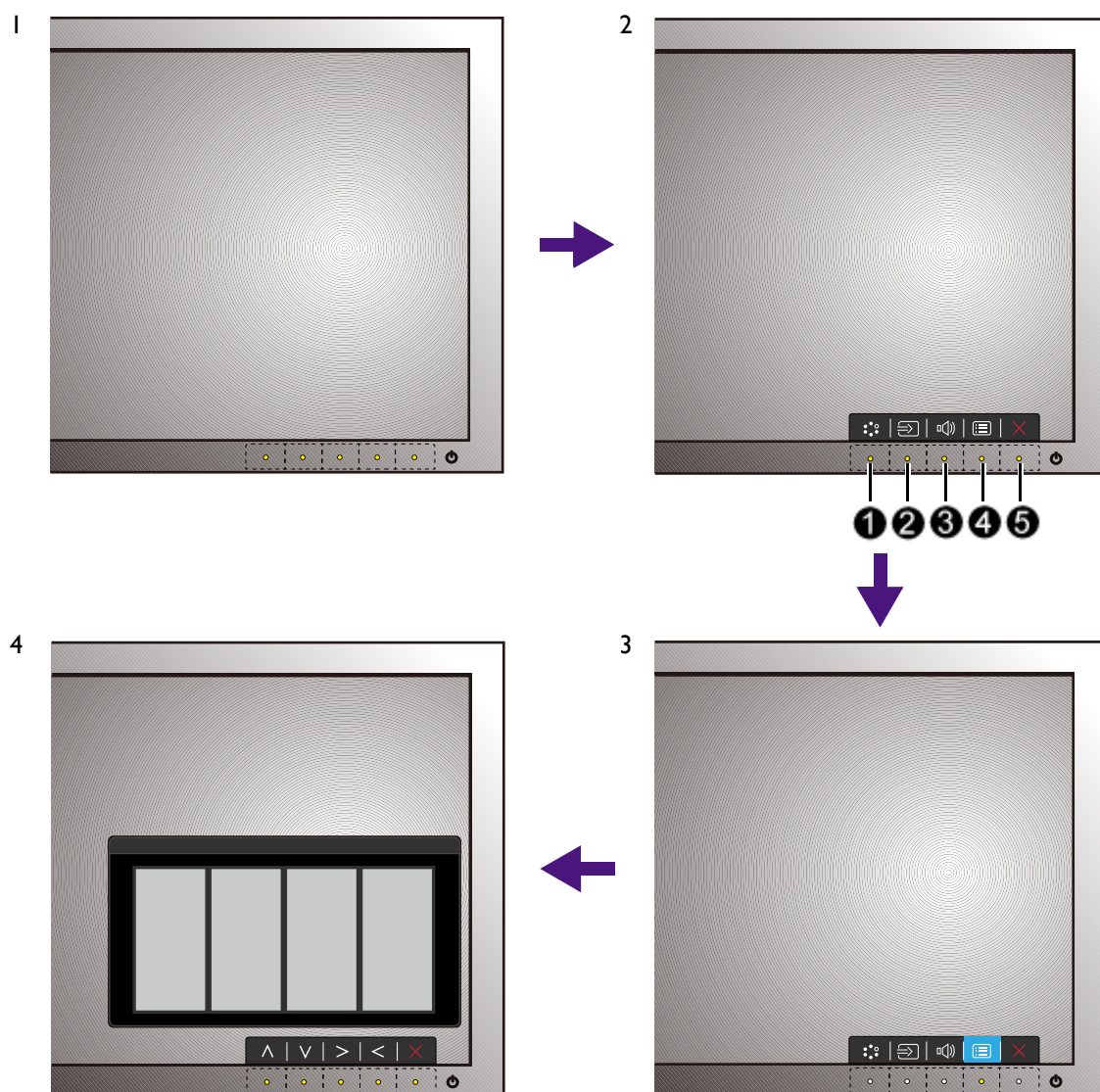
番号	名前	説明
5.	ナビゲーションボタン (▲ / ▼ / ◀ / ▶)	• ▲: 上 / 設定を上げます。 • ▼: 下 / 設定を下げます。 • ▶: サブメニューが開きます。 • ◀: 前のメニューに戻ります。
6.	OK キー (OK)	• ホットキーメニューがアクティベートされます。 • メニューアイテムを選択します。



OSD コントローラは BenQ LCD モニタ 専用 に設計されており、対応モデルでしかご使用いただけません。Mini USB ポートでこれを他のデバイスに接続しないでください。

基本メニュー操作

すべての OSD（On Screen Display）メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。



1. コントロールキーをどれでも押します。または、OSD コントローラで OK キーを押してください。
2. するとホットキー メニューが表示されます。左 3 個のコントロールはカスタムキーで、特定機能にアクセスするよう設計されています。
3. （メニュー）を選択してメインメニューを開きます。

4. メインメニューでコントロールキーの横にあるアイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、[38 ページの「メインメニューのナビゲート」](#)を参照してください。

番号	ホットキー メニューの OSD	メイン メニューの OSD アイコン	機能
①	カスタム キー 1	∧	- デフォルトでは、これは画像モード用のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、35 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 - 上 / 設定を上げます。
②	カスタム キー 2	∨	- デフォルトでは、このキーは入力のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、35 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 - 下 / 設定を下げます。
③	カスタム キー 3	> / ✓	- デフォルトでは、このキーは音量調整のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、35 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 - サブメニューが開きます。 - メニューアイテムを選択します。
④	メニュー	<	- メインメニューを有効にします。 - 前のメニューに戻ります。
⑤	終了	×	OSD を終了します。



- OSD = オンスクリーン ディスプレイ。
ホットキーはメインメニューが表示されていないときにしか使用できません。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。
- OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

Display Pilot でディスプレイをコントロールする

Display Pilot ソフトウェアは、ディスプレイを操作するための代替ツールとして提供されています。このソフトウェアを使用するには、次のいずれかを行ってください。

- (BL3200 のみ) 付属の CD からインストールする。
- (BL3201 のみ) www.benq.com からダウンロードしてインストールしてください。または、付属の CD からインストールできます (CD が付属されている場合)。

次のような主要機能があります。

- OSD メニューのコントロール

- ・モニタと共にディスプレイも回転させるように自動設定します（22 ページを参照）。詳細は、**Display Pilot** からシステム > オプション > ユーザー ガイドを選択してください。



対応オペレーティング システム : Windows 7、Windows 8、Windows 8.1。

画像の最適化

アナログ入力（D-Sub）から画像を最適化するために最も簡単な方法は、**自動調整機能**を使うことです。**表示と自動調整**を選択し、現在画面に表示されている画像を最適化してください。



デジタル（DVI、HDMI または DP）ケーブルを使ってデジタル入力信号をモニタに接続すると、モニタが自動的に最高画像を表示するため**自動調整機能**は無効になります。



自動調整機能を使用するときには、コンピュータに接続したグラフィックカードがモニタ本来の解像度に設定されていることを確認してください。

メニューからは、いつでも画面の設定を手動で調整することができます。スクリーンテスト画像ユーティリティでは、画面の色、グレースケール、ラインのグラデーションなどを確認することができます。

1. CD-ROM からテストプログラム auto.exe を起動してください。OS のデスクトップなど、他のイメージを使用することもできます。それでも、auto.exe を起動するとテストパターンが表示されますので、auto.exe を使用されるようお勧めします。
2. コントロールキーまたは OSD コントローラの OK キーを押すと、ホットキーメニューが開きます。☐（メニュー）を選択してメインメニューを開きます。
3. **表示と自動調整**を選択します。
4. 縦状にノイズ（カーテン効果のように縦にゆらゆらする線）が走る場合は、**周波数**を選択してノイズが消えるまで調整してください。
5. 水平状にノイズが走る場合は、**フェーズ**を選択してノイズが消えるまで調整してください。

ホットキーのカスタマイズ

左 3 つのコントロールキー（カスタムキーとも呼びます）はホットキーとして機能し、あらかじめ設定された機能を直接実行できます。これらのキーのデフォルト設定は別の機能に変更することができます。

1. コントロールキーまたは OSD コントローラの OK キーを押すと、ホットキーメニューが開きます。☐（メニュー）を選択してメインメニューを開きます。
2. **システム**を選択します。
3. 変更したいカスタムキーを選択します。
4. サブメニューでこのキーに割り当てたい機能を選択します。設定が完了すると、メッセージが表示されます。

画面モードの調整

16:9 以外の縦横比、購入されたモデルのパネルサイズとは異なるサイズの画像を表示するには、モニタで画面モードを調整します。

1. コントロールキーまたは OSD コントローラの OK キーを押すと、ホットキーメニューが開きます。 (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。
2. 画像の詳細設定と画面モードを選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。設定は直ちに反映されます。

スマート スケーリングを使う

スマート スケーリングを使用すると、画面をリサイズすることができます。

1. 画像の詳細設定とスマート スケーリングを選択します。
2. 値を調整します。



- カスタムキーの 1 つがスマート スケーリング用にあらかじめ設定されている場合は、カスタムキーを押すと直接値を調整できます。
- リサイズした直後は、ディスプレイが一時的に不安定になる場合があります。これは正常な現象であり、製造上の欠陥ではありません。
- スマート スケーリングの詳細については、[47 ページの「スマート スケーリング」](#)を参照してください。

適切な画像モードを選択する

このモニタには、さまざまな画像タイプに合った画像モードがいくつか用意されています。画像モードの種類については、[45 ページの「画像モード」](#)をご覧ください。

画像の詳細設定と画像モードを選択した後、任意の画像モードを選択します。

モニタを MacBook シリーズ製品に接続する

モニタが MacBook シリーズに接続されている場合は、MacBook のカラーマッチングを表示する **M-book** モードに切り替えてください。

1. モニタを MacBook シリーズ製品に接続します。
2. 画像の詳細設定と画像モードを選択します。
3. **M-book** を選択します。設定は直ちに反映されます。

PIP/PBP モードでのビデオ ソース選択（PIP/PBP 機能のあるモデル専用）

モニタはビデオ ソースを DVI-D、HDMI、DP、mini DP の順番でスキャンし、最初に有効なソースを表示します。PIP/PBP モードでは、このビデオ ソースがメイン ソースになります。[40 ページの「PIP/PBP ソース」](#)でメニューから PIP/PBP モードの 2 番目のソースを決定する必要があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。

メイン ソースとサポートされる 2 番目のソースは、次の表を参照してください。

		可能な 2 番目のソース				
	入力	DVI-D	HDMI 1	HDMI 2	DP	Mini DP
メインソース	DVI-D		V	V	V	V
	HDMI 1	V		V	V	V
	HDMI 2	V	V		V	V
	DP	V	V	V		V
	Mini DP	V	V	V	V	

メインメニューのナビゲート

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。コントロールキーまたは OSD コントローラの OK キーを押すと、ホットキーメニューが開きます。 (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。詳細は、[33 ページの「基本メニュー操作」](#)を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



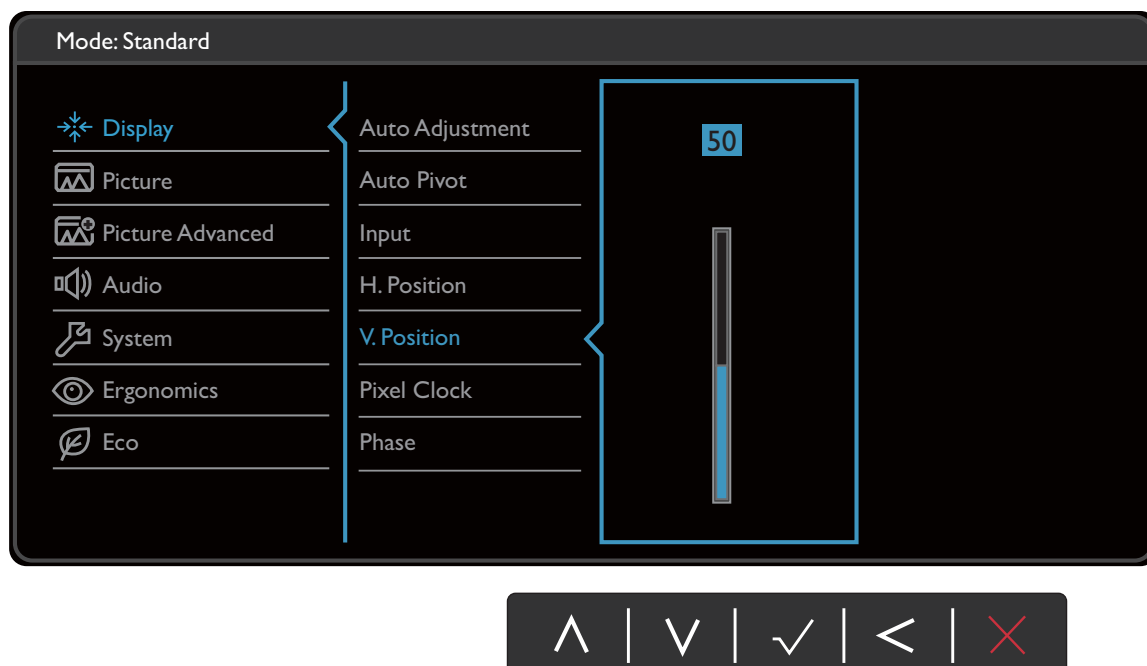
OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、システムと OSD 設定の [51 ページの「言語」](#)を参照してください。

各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [39 ページの「表示メニュー」](#)
- [42 ページの「シャープネス画像メニュー」](#)
- [44 ページの「画像の詳細設定メニュー」](#)
- [49 ページの「オーディオメニュー」](#)
- [50 ページの「システム メニュー」](#)
- [54 ページの「エルゴノミクス メニュー」](#)
- [56 ページの「Eco メニュー」](#)

表示メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



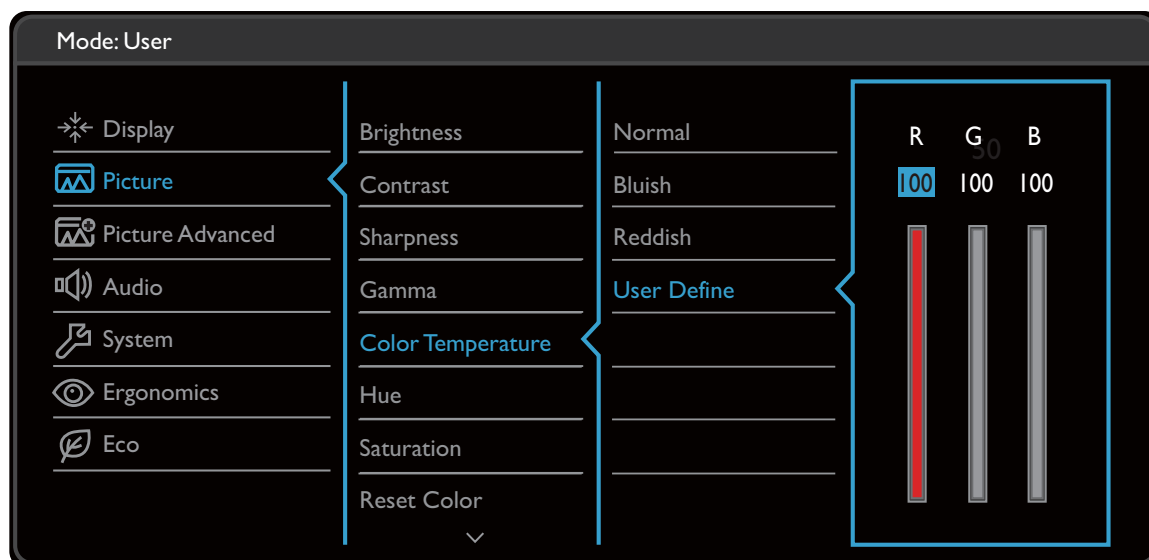
1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って表示を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能		範囲	
自動調整 (BL3200 のみ)	スクリーン設定を自動的に最適化、調整します。  デジタル入力信号では使用できません。			
PIP/PBP (BL3201 のみ)	PIP モードまたは PBP モードを設定します。2 つの独立したビデオソースの画像も同時に画面に表示されます。  PIP/PBP モードになっているときには、メイン ソースからのオーディオが出力されます。			
	モード	PIP モードまたは PBP モードを設定します。 PIP : ピクチャ イン ピクチャ (PIP) モードは、スクリーンにメインのビデオ ソースを表示し、その内側の一角に 2 番目のソースを表示します。 PBP : 2 種類のビデオ ソースの画像を横に並べて表示します。 オフ : PIP/PBP モードを無効にします。		• PIP • PBP • オフ
	PIP/PBP ソース	PIP/PBP モードの 2 番目のビデオ ソースを設定します。		• DVI • HDMI 1 • HDMI 2 • DisplayPort • Mini DisplayPort
	スワップ	メイン ソースと 2 番目のソースの映像は、入れ替えることができます。		
	PIP サイズ	PIP モードでの内側の画面のサイズを決定します。		• 小 • 中 • 大
	PIP の位置	PIP モードでの内側の画面の位置を調整します。		• 右上 • 左上 • 右下 • 左下
自動回転	モニタと一緒に表示も回転させます。		• オン • オフ	

アイテム	機能	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	(BL3200 のみ) • D-Sub • DVI • HDMI • DisplayPort (BL3201 のみ) • DVI • HDMI 1 • HDMI 2 • DisplayPort • Mini DisplayPort
水平位置 (BL3200 のみ)	イメージの水平位置を調整します。	0 から 100
垂直位置 (BL3200 のみ)	イメージの垂直位置を調整します。	0 から 100
周波数 (BL3200 のみ)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のタイミングを調整します。 35 ページの「画像の最適化」を参照してください。  デジタル入力信号では使用できません。	0 から 100
フェーズ (BL3200 のみ)	アナログ入力ビデオ信号と同期を取るように、周波数のフェーズタイミングを調整します。 35 ページの「画像の最適化」を参照してください。  デジタル入力信号では使用できません。	0 から 63

シャープネス画像メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



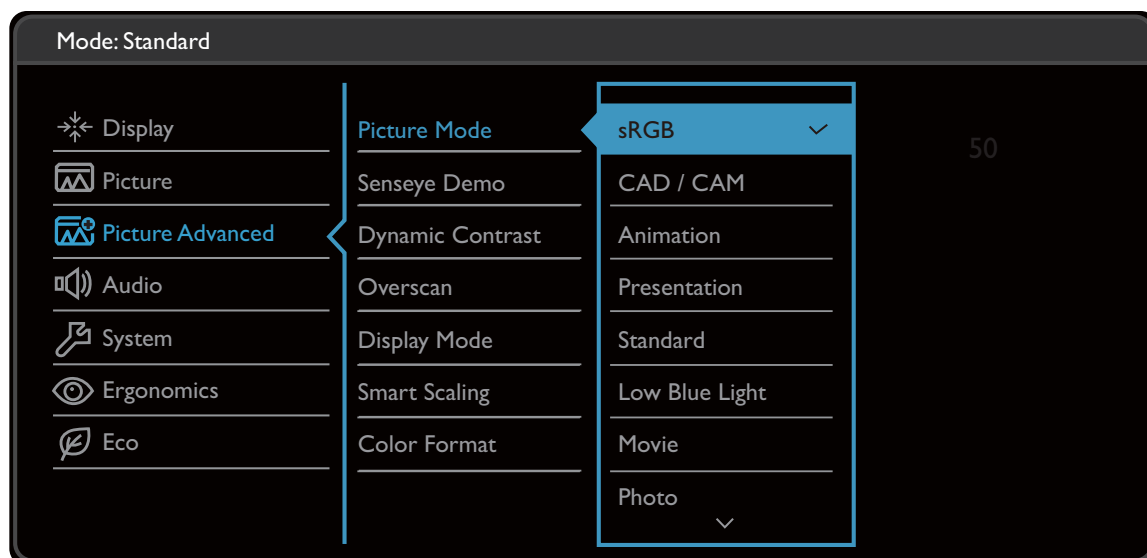
1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って画像を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
輝度	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。	0 から 100
コントラスト	暗いエリアと明るいエリアの差を調整します。	0 から 100
シャープネス	被写体の鮮明さを調整します。	1 から 10

アイテム	機能		範囲
ガンマ	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は 3 (Windows の標準値) です。		• 1 • 2 • 3 • 4 • 5
色温度	標準	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。	
	薄青	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	薄赤	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	ユーザー設定	赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。次に赤、緑、青メニューに進み、設定を変更します。 この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	• R (0 から 100) • G (0 から 100) • B (0 から 100)
色相	人間の目に映る色の濃淡を調整します。		0 から 100
彩度	色の純度を調整します。		0 から 100
色のリセット	カスタム設定色をデフォルト値に戻します。		• はい • いいえ
AMA	LCD パネルのグレーレベル応答時間を短縮化します。		• オフ • 高 • プレミアム

画像の詳細設定メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って画像の詳細設定を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能		範囲	
画像モード	画面に表示する画像の種類に最もあったモードを選択します。			
	sRGB	プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器との色を一致させます。		
	CAD / CAM	CAD / CAM ソフトウェアを使用する場合コントラストを強調します。		
	デザイン	デザインモードを作成するときに容易に詳細な作業を行うことができるように、暗い色のコントラストを高めます。	0 から 10	
	発表	モニタに表示される画像とプロジェクタが投写する画像の色、コントラスト、輝度の違いを最小化します。		
	標準	基本的な PC アプリケーションで使用します。		
	ブルーライト軽減	目に青い光があまり当たらないように、ディスプレイの青い光を軽減します。  各ブルーライト軽減モードの値は、標準モードと比較して青いライトがどの程度軽減されるかを示しています。		
		マルチメディア	マルチメディア鑑賞用です。	-30%
		ウェブサーフィン	インターネット サーフィン用です。	-50%
		オフィス	ビジネスまたはオフィス環境用です。	-60%
		閲覧	電子書籍やドキュメントの閲覧。	-70%
	動画	動画を見るときに使用します。		
	写真	静止画を見るときに使用します。		
エコ	実行中のプログラムの輝度を最小限にすることで電力消費量を下げ、節電します。			
M-book	モニタと接続した MacBook シリーズの視覚的な差異を最小限に留めます。			
ユーザー	ユーザー定義による画像設定の組み合わせを適用します。			

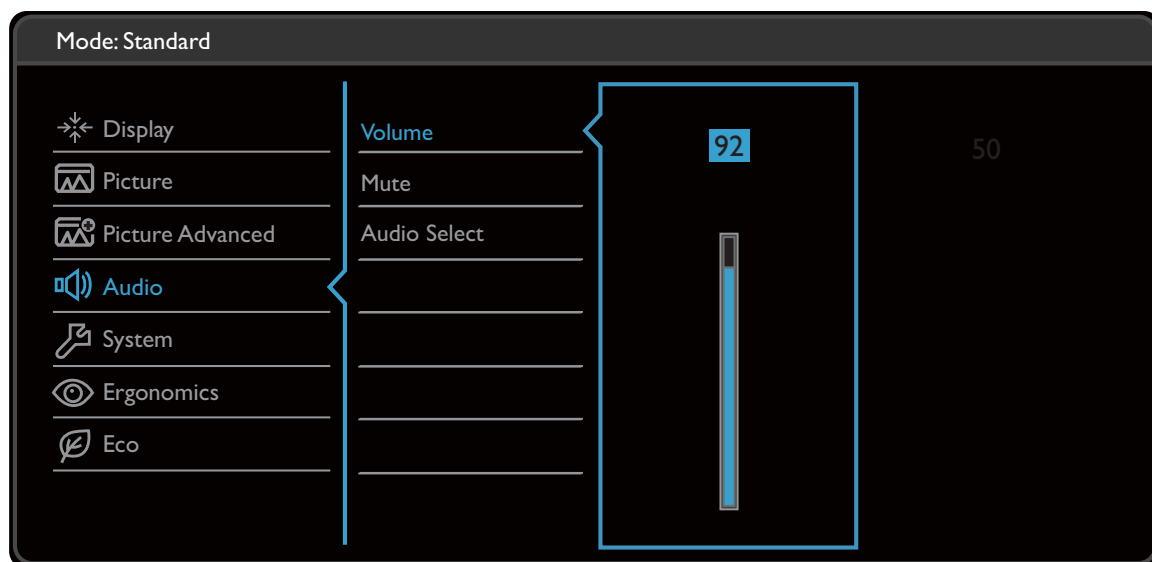
アイテム	機能	範囲
デモ	画像モードで選択したモードを使って、画像をプレビューします。スクリーンは2つのウィンドウに分割されます。左側のウィンドウにはスタンダードモードで画像が表示され、右側のウィンドウには指定したモードで画像が表示されます。	・オン ・オフ
DCR	入力画像を自動的に検出し、コントラストを最適化する機能です。	0 から 5
Overscan	入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。  入力ソースが HDMI、DP、または D-Sub（コンポーネントから変換された VGA）の場合にのみ使用できます。	・オン ・オフ

アイテム	機能		範囲
画面モード	この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。		
	 入力信号ソースによって、画面モードの下のオプションが変わります。		
	 画像モードで行った選択によって、異なる画面モードオプションがプリセットされます。設定は必要に応じて変更してください。		
	全画面	入力画像をスクリーンに合わせて表示させます。縦横比が 16:9 の画像に適しています。	
	縦横比	入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。	
	1 : 1	入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。	
	19s"	入力画像を縦横比 5:4 の 19" モニタに表示するように表示させます。	
	22" (16:10)	入力画像を縦横比 16:10 の 22" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
	23"	入力画像を縦横比 16:9 の 23" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
	24"	入力画像を縦横比 16:9 の 24" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
	24" (16:10)	入力画像を縦横比 16:10 の 24" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
	27"	入力画像を縦横比 16:9 の 27" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
	27" (16:10)	入力画像を縦横比 16:10 の 27" ワイドモニタに表示するように表示させます。	
30"	入力画像を縦横比 16:9 の 30" ワイドモニタに表示するように表示させます。		
スマート スケーリング	目的に合わせて画面のサイズを調整します。	0 から 100	

アイテム	機能		範囲
カラー フォーマット (BL3200 のみ)	検出されたビデオ信号に基づいて、カラースペース (RGB または YUV) を決定します。  モニタに色が正しく表示されない場合は、カラーフォーマットを手動で設定する必要があるかもしれません。  入力ソースが HDMI または DP の場合は、カラーフォーマットは選択できません。カラーフォーマットは入力ビデオソースを基に、自動的に設定されます。		
	RGB	• PC からの D-Sub (VGA) 入力ソース用です。 • DVI 入力ソース用です。	
	YUV	ビデオデバイスから D-Sub (VGA から変換したコンポーネント) 入力ソース用です。	
HDMI RGB PC 範囲	カラースケールの範囲を決定します。接続した HDMI デバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。		• RGB (0 から 255) • RGB (16 から 235)

オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

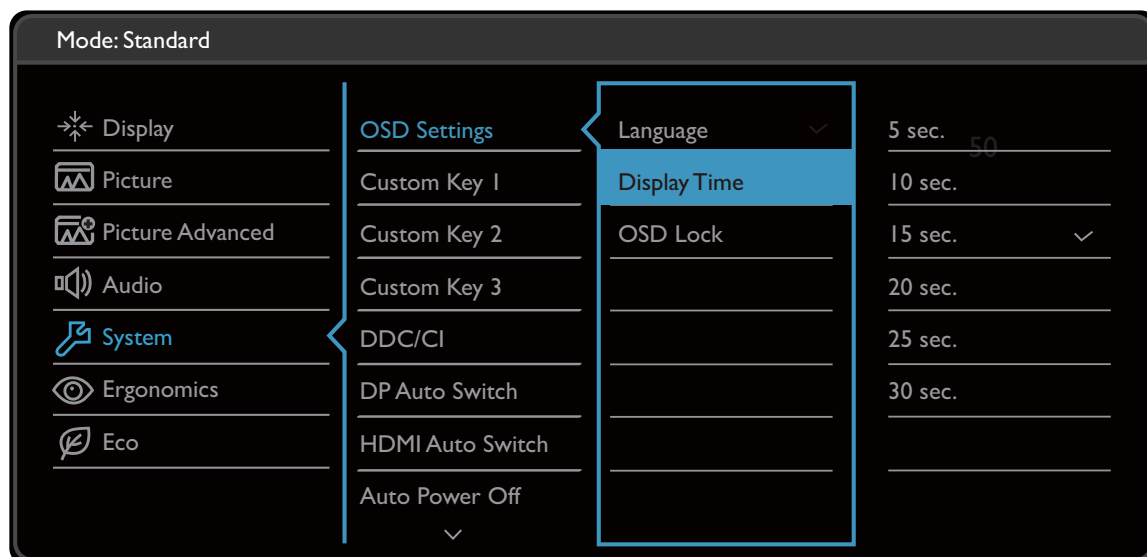


1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってオーディオを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
音量調整	音量を調整します	0 から 100
ミュート	オーディオ入力を無音にします	• オン • オフ
オーディオ選択 (2 つ以上のオーディオソースを持つモデル)	ユーザーが手動でオーディオソースを選択するか、あるいはモニタに自動検出させます。	• PC 音声 • 自動検出

システムメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってシステムを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

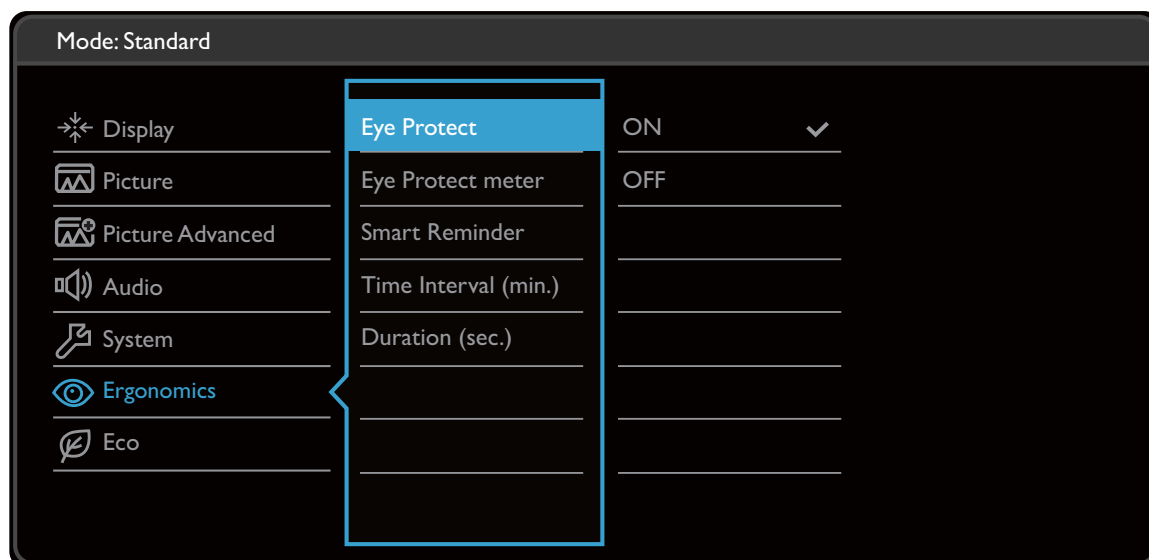
アイテム	機能		範囲
OSD 設定	言語	OSD メニューの言語を選択します。  本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。	• English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • Český • Magyar • SiCG/BiH/CRO • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português • 日本語 • 繁體中文 • 简体中文
	表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。	• 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒
	OSD ロック	モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。  OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。	• はい • いいえ

アイテム	機能	範囲
カスタム キー 1	カスタム キー 1 でアクセスできる機能を設定します。	• 画像モード • CAD / CAM • デザイン • ブルーライト 軽減 • 画面モード • 輝度 • コントラスト • 自動調整 (BL3200 のみ) • 音量調整 • ミュート • 入力 • 目の保護 • 目の保護 メーター • ECO センサー • ECO 感知計器 • スマート通知
カスタム キー 2	カスタム キー 2 でアクセスできる機能を設定します。	
カスタム キー 3	カスタム キー 3 でアクセスできる機能を設定します。	
DDC/CI	PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。  Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。	• オン • オフ
DP 自動切換	この機能を有効にすると、DP が入力オーディオ選択ループに入ります。有効にしなければ、DP は入力選択かホットキーでしか選択することができません。	• オン • オフ
HDMI 自動切換	この機能を有効にすると、HDMI ポートが入力自動選択ループに入ります。有効にしなければ、HDMI は入力選択かホットキーでしか選択することはできません。	• オン • オフ

アイテム	機能	範囲
自動電源オフ	省電力モードで、モニタが自動的にオフになるまでの時間を設定します。	• オフ • 10 分 • 20 分 • 30 分
解像度についての注意	モニタが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。	• オン • オフ
情報	モニタのプロパティ設定を表示します。	• 入力 • 現在の解像度 • 最適解像度 • モデル名
DisplayPort	データ転送用の適切な DP 規格を選択してください。	• 1.2 • 1.1
コントローラキー 1	コントローラキー 1 で機能やセットアップメニューにアクセスできるように設定します。	• sRGB • CAD / CAM • デザイン • 発表 • 標準 • ブルーライト軽減 • 動画 • 写真 • Eco • M-book • ユーザー • 輝度 • 音量調整 • 入力
コントローラキー 2	コントローラキー 2 で機能やセットアップメニューにアクセスできるように設定します。	
コントローラキー 3	コントローラキー 3 で機能やセットアップメニューにアクセスできるように設定します。	
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	• はい • いいえ

エルゴノミクス メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

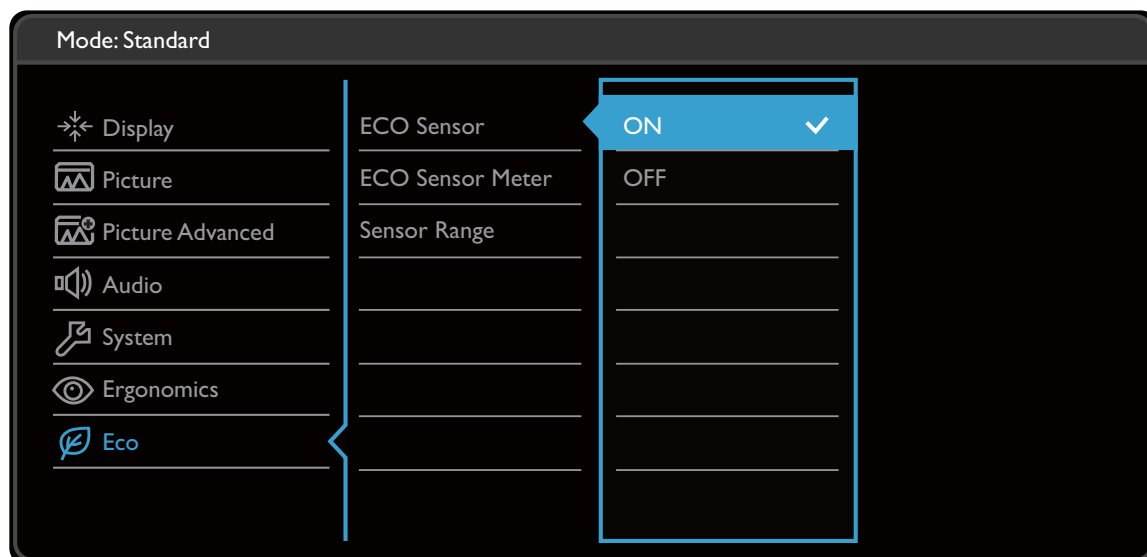


1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってエルゴノミクスを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
目の保護	このモニタにはモニタ周辺の照明条件を検出し、モニタのバックライトを自動的に調整できる、ライトセンサーが装備されています。この機能は、露出過剰な明るすぎる環境において目を保護する役割を果たします。 十分な照明がある場合は、モニタの輝度が上がります。照明が暗い場合は、モニタの輝度が下がります。  手動でモニタの輝度を調整するには、画像 > 輝度を選択します。	• オン • オフ
目の保護 メーター	メーター 画面にスクリーン周辺の照明状況を表示します。	• オン • オフ
スマート通知	目を休めるように注意を促すメッセージを表示するかどうかを決定します。	• オン • オフ
合間の長さ（分）	アラーム メッセージの間隔を設定します。	• 20 • 40 • 60 • 80 • 100
長さ（秒）	アラーム メッセージを画面に表示しておく長さを設定します。  アラーム メッセージが表示されたときに電源ボタン以外のキーを押すと、メッセージを隠すことができます。	• 5 • 10 • 15 • 20 • 25

Eco メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って **Eco** を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、 を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
ECO センサー	このモニタには、1 個の接近センサー（「ECO センサー」と呼びます）が搭載されており、モニタの前の範囲内にユーザーが居るかどうかを検出します。センサーがユーザーの存在を検出しなければ、モニタが 40 秒以内にオフになり節電します。  モニタが ECO センサー によりオフになった場合は、電源ボタンが白く点滅します。ECO センサーが 2 時間以上何も検出しない場合は、モニタはオフになります。電源ボタンを押すと、モニタの電源がオンになります。	・オン ・オフ
ECO 感知計器	モニタをオフにするまでのカウントダウンを表示するように設定します。	・オン ・オフ
センサー範囲	センサーの検出範囲を指定します。	・近い ・中央 ・遠い

トラブルシューティング

よくある質問（FAQ）

- ?** 画像がぼやける。
- ✓** CD の「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ?** VGA 延長ケーブルを使用している場合。
- ✓** テストを行うため、延長ケーブルを取り外します。画像の焦点が合っていることを確認してください。合っていない場合は、「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの「**リフレッシュレートの調整**」セクションの指示にしたがって、画像を最適化してください。ぼやけは、延長ケーブルでの伝送損失によって自然に発生します。伝送品質に優れた、または内蔵ブースタを備えた延長ケーブルを使用することにより、これらの損失を最小限に抑えることができます。
- ?** ネイティブ（最大）解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合：
- ✓** CD の「**スクリーンの解像度の調整**」リンクの指示にしたがってください。ネイティブ解像度を選択します。
- ?** ピクセル エラーが表示される。
- 一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合
- ✓** ・LCD スクリーンをきれいに掃除してください。
- ・電源のオン / オフを切り替え。
- ・モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
- ?** 画像が不自然な色で表示される。
- ✓** 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。
- 画像と色のリセット**を選択した後、**はい**を選択して色設定を初期値に戻します。それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3 つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

? LED が白かオレンジ色に点灯しています。

- ✓ • LED が白く点灯しているときには、モニタの電源が入っています。
- LED が白く点灯し、画面に「範囲外です」というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていない画面モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。「スクリーンの解像度の調整」リンクの「プリセット 画面モード」セクションをお読みください。
- LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
- LED がオフであれば、電源のメイン ソケット、外部電源、メイン スイッチをチェックしてください。

? スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります：

- ✓ • 省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
- 画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

? 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。

- ✓ CD の「スクリーンの解像度の調整」リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

? モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます：

- ✓ 異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、画面モードで入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、[47 ページ](#)の「画面モード」を参照してください。

? 画像が片側に寄ってしまう。

- ✓ CD の「スクリーンの解像度の調整」リンクの指示にしたがってください。最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

? OSD コントロールにアクセスできません。

- ✓ ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

? 外付けスピーカーから音が出ない。

- ✓ • ヘッドフォンを外してください（モニタにヘッドフォンが接続されている場合）。
- 出力が正しく接続されていることを確認してください。
- 外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
- 外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。

? 内蔵スピーカーから音が出ない：

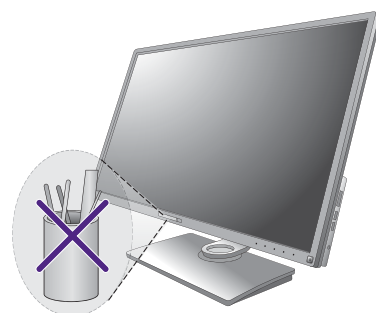
- ✓ 入力为正しく接続されていることを確認してください。
- 音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
- ヘッドフォンや外付けスピーカーを外してください。（それらがモニタに接続されている場合は、内蔵スピーカーは自動的に無音になります。）

? モニタのライトセンサーが正常に機能しません。

- ✓ ライトセンサーはモニタの正面下にあります。次のことを確認してください：
- センサー保護ステッカーを外してある場合。
- 目の保護機能がオンに設定されているかどうか。エルゴノミクス > 目の保護を選択します。
- センサーが照明を正確に検出するのを妨げる物体がモニタの前にはないかどうか。
- センサーの前に明るい色の物体または服がないかどうか。明るい色（特に白と蛍光色）は明かりを反射するため、センサーが主要な光源を検出できません。

? モニタの ECO センサーが正常に機能しません。

- ✓ ECO センサーはモニタの正面下にあります。センサーがユーザーの存在を正確に検出するのを妨げる物体が、モニタの前にはないかどうかを確認してください。
- センサー保護ステッカーを外してある場合。
- 服の色と素材によっては、検出結果に影響を与える場合があります。必要であれば、センサーの範囲を調整してください。詳細は、57 ページの「センサー 範囲」を参照してください。
- ユーザーとモニタとの距離を調整します。



上記のどの方法によっても問題を解決できない場合は、ユーザーの服の素材が独特なものであるために、ECO センサーがユーザーを検出できないことが原因である可能性があります。これは製造上の欠陥でも、センサーの故障でもありません。この場合は、エコ > ECO センサーを選択して、ECO センサーを無効にする必要があります。

それでも解決できないときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、servicejp@BenQ.com まで電子メールにてお問い合わせください。